

ナウ・ドーリング
『NOW DOLLING...』 山口県立山口中央高等学校演劇部 2023 年度上演作品

作者 山口中央高校演劇部

原案・三吉由香（2023 年度山口中央高校 3 年）

潤色・榊井春香（2023 年度山口中央高校 1 年）

* 本稿は山防地区大会版を山口高校春公演のためにリライトした潤色版です。

上演 山口県山防地区高等学校演劇発表会 優秀賞 （オリジナル版）

山口中央高校翠嶺祭 （オリジナル版）

山口高校春公演ゲスト上演 （潤色版）

作品紹介 22 世紀、ある国で。急激な人口減少による労働力不足解消のため、政府は工場生産型人間「ハッピードール」の使用を認める。路地裏に店を構えるなんでも屋「ハートのエース」では、ハッピードールたちが「旧人類」の様々なニーズに応えながら暮らしていた。そこへ舞い込んだある任務が、彼らの運命を動かしていく。

登場人物 11 人 （男子 2～4 人、女子 7～9 人）* 性別は変更可能です

上演許可を得るための連絡先 asakawa.miyoko.tg@m.ysn21.jp

NOW
DOLLING...
DOLLING...
DOLLING...
DOLLING...
DOLLING...
DOLLING...
DOLLING...
DOLLING...
DOLLING...
DOLLING...
DOLLING...

NOW

ナウ・ドーリング

DOLLING...

三吉 由花 原案
山口中央高校演劇部 作
榘井 春香 潤色

3月26日 春公演
山口市民会館小ホール



『NOW DOLLING』： 原案／三吉由花 作／山口中央高校演劇部 潤色／榊井春香

登場人物

エース なんでも屋「ハートのエース」の店主

ファースト(19) ドール 頭脳派

セカンド(13) ドール おしゃべり好き

サード(10) ドール スポーツ万能

フォース(15) ドール 悩み相談専門 心を読むのが得意

ファイブ(17) ドール 機械から人間まで修理通

真壁優子 客 エースの店の客でアイの母親 ドールと人間との差別主義者

真壁アイ(17) 真っすぐな性格の女子高校生

狂楽来博士 天才科学者 「はぐれドール」の監視役

スー(19) 狂楽来が作ったスーパードール

設定

22世紀期を迎えた地球上のある国で。新型プロミネンスウイルスの地球規模パンデミックにより世界人口は半数に激減した。ウイルス感染のもっとも深刻な後遺症は繁殖能力を失うことであり、人口は減少の一途をたどっていた。深刻な出生率の低下、労働力不足に対処するため様々な対策が取られ、従来タブーとされてきた遺伝子操作による人造人間の製造も許可された。「ハッピードール」*の誕生である。

*「ハッピードール」多機能幹細胞に DNA を注入、促成培養して「製造された工場生産型人間」。「人間が幸せになるために行動するよう設計されている。AI搭載ロボットではなく、あくまでも生物である。人間を凌駕することがないよう、学習機能にはリミッターがかけられている。

開幕。

コロコロ椅子を引きながら狂楽来登場。椅子に座ってテレビをつける。

キヤスター 世界中で流行した新型プロミネンスウイルスによる深刻な人口減少の対策として製造を開始した工場生産型人間、通称「ハッピードール」。彼らの誕生から早十年が経った現在、製造に必要不可欠である「ハッピーフラワー」が海面上昇の影響で入手できなくなることが、昨日政府からの報告で明らかになりました。これに対し、世間では……

電話が鳴る。

狂楽来 もしもし……、ああ、問題ないよ。この僕を誰だと思ってるんだ……

狂楽来、高笑いしながら出ていく。

場面転換。

工事現場のような音が響いている。

心臓の鼓動のような音が重なる。

ぼんやり浮かび上がるコンクリートの廃墟。

古代遺跡ストーンヘンジのようにも見えるコンクリートの壁。

やがて女の声が聞こえてくる。

町のなんでも屋「ハートのエース」の客が明らかに立腹の様子である。対応している店主の男は言葉こそ丁寧だが心はこもっていないように聞こえる。やや離れて二人の店員がその様子を見ている。

真壁 今回は、心底がっかりしたわ。

エース 申し訳ございません。

真壁 あなたを信用して、頼んだのよ、エースさん。なんなの？あのドール。生意気な。

エース よく言い聞かせますので。

真壁 私、「家庭教師」をお願いしたわよね。

エース はい、頭脳派のファーストがぴったりだと思いましたので。

真壁 確かに頭がいい子よ。でもね、ちよつと失礼が過ぎるんじゃないの。

セカンド ええー何やったの？ファースト。

真壁 うちの子に向かってこうよ。「断言する。君には一生かかってもこれは理解できない。時間とエネルギーの無駄だ」

セカンド うっわ、言っちゃったんだ。正直だもんね、ファーストは。

エース セカンド！

真壁 だから嫌なのよ、ドールは。人間の心の機微つてものがわからないからね。

セカンド 出た出た、旧人類の差別発言。私たちをさんざん安く使ってるくせにー。

真壁 これは、差別ではなくて、区別よ。あなたたちドールは、私たち人間を幸せにするためにいるんですからね。

ファースト お言葉ですが真壁様、我々ハッピードールは法律によって基本的人権を保障されています。

真壁 一応ね、理屈ではね。

セカンド 理屈じゃなかったらどうなの？

真壁 歴史を学んでないの？お嬢さん。

セカンド ドールは学校に行けないですー。

真壁 あら、そうだったわね。じゃあ、無理もないわね。

エース そうでございますね。

セカンド ちよつとエース、味方してよ。

真壁 ねえ、エースさん、あなたたちハッピードールがこうやって商売できるのも、私たち上級市民がお情けで

仕事を与えてるからでしょう。

エース さようでございますね。

真壁 ふんっ、そういうところよ。妙に物分かりがいいのも気に食わないわ。

セカンド じゃあどうしたらいいんですか。

ファースト だまってる。

エース この度はうちのスタッフが大変失礼をいたしました。

真壁 ええ、本当に。

エース みなさまの何でも屋「ハートのエース」、またのご利用をお待ちしております。本日はありがとうございます。ありがとうございました。

真壁 あらあらあら、何？ 追い出す気？

エース お気をつけてお帰りください。

真壁 まあいいわ、代金は払わないわよ！

エース ごもつともです。

セカンド とつと出ていけ、クソばばあ！

真壁 んまつ！二度と来ないから！

エース、深々と礼をして真壁を送り出す。ドアベルがカランカランと鳴る。

エース どこで覚えたその言葉。

セカンド こないだ訪問した丸山さんち。なんか夫婦でケンカ？始めちゃってさ、ほーこういう時に使うのか！てキープしてた。ねえねえ、使い方あった？

エース たぶんね。でもそれ、必要ないから削除しとけ。

セカンド はあい。でもエース、なんであんなに頭下げるのよ。

エース 僕たちはあの人たちのために作り出されたんだ。逆らってたら生きていけないよ。

セカンド 「これは差別ではなくて、区別よ！」。使う側と使われる側を区別してるだけってこと。

エース そ。

セカンド でも、さつきファーストだって言ってたじゃん。私たちには人権が認められている。

エース 身分が違うんだよ。

セカンド いつつもそればかり。納得いかない。

エース そうはいつでもな。

ファースト 俺たちの「ハッピードール」っていう名前は、「人間が」ハッピーになるためだから。

セカンド 人間が幸せに暮らせるようにご奉仕するハッピードール。ああ、自分があんな奴らに作られたのかと思うと残念無念。

ファースト まあ、どうせ頭の悪い旧人類の言うことだ。気にするな。

エース さて、今後のために今日の失敗は反省しとくべきだな。

セカンド そうだね。どうだったの。詳しく聞かせて。

ファースト あの子、プライドは高いから、ちよつとくすぐったらやる気出さだろうという緻密な計算に基づいた発言だったんだけど、たまたま母親に聞かれてさ。

エース お母上のプライドに突き刺さった、というわけか。なるほど。

ファースト 人間は無駄に複雑で無駄に難解な精神構造してるからね。だから頭悪いんだよ。
セカンド 私たちが絶対に優秀なのに、なんでいつもへこへこしてないといけないのかな。
ファースト まあ、あの人たちがいなきゃ、そもそも俺らは存在してなかった。
セカンド 絶滅まっしぐらだったくせに。旧人類！
エース 仕方ない。僕らはその旧人類を利用して、したたかに生きるだけだ。

サード、風のように駆け込んできて、

サード エース！

エース サード、どうかした？

サード 大変なのです、お店の近くにドールが倒れているのです！

エース ええ！

ファースト その子の状態は？

サード サードにはわからないのです……

セカンド なんでもいいよ、早く助けなきゃ！

エース ああ、サードはその子をお店へ運んできて。

サード かしこまりっなのです！

サードは飛び出していく。

エース こっちは患者の受け入れ準備を。みんなー！

ドール全員 はーい！

店のドールたちが出てきてチャントする。

エース なんでもやります「ハートのエース」！

セカンド あなたの笑顔が見たいから。

ファースト 掃除、買い物、人探し、犬の散歩に庭の草刈り。

ファイブス 家電修理もお手のもの。

フォース 聞かせてあなたの困りごと。
エース まずはお電話8100810
ドール全員 そう、「ハートのエース」!

サードが制服を着た女の子を連れてくる。

サード 救急搬送完了!

女の子を横にする。

サード かわいらしい子なのです!

ファイフス 怪我は無さそうね。

アイ だれ? 誰の声?

セカンド あ、起きた!

アイ へ、は、なに? あんたら誰?

サード 助けてあげたのに酷い言いぐさなのです!

エース ここは「ハートのエース」何でも屋。修理工場じゃないけど心配いらないよ。

セカンド そう、このファイフスは、修理が専門だから安心して。

アイ ちよちよちよ待って、は? 修理? え、まじで意味わかんないけど?

ファイフス はい、とりあえず横になって、修理はスピードが命だから。

アイ 修理とかマジいらないから!

ファースト あれ、この子どっかで。

エース はい落ち着いてー、深呼吸してみよっかー

と、エース、アイの腕を取ろうとする。

アイ さ・わ・る・な!

アイのパンチがエースの鼻っ柱にクリーンヒット。玉突きもらい事故でサードが
気絶する。

セカンド　ちよ、サードおー！ファイブス！お願い！
ファイブス　今日は忙しいわね！

と、二人がサードのリセットをしていると

ファースト　あ、君、真壁さん家の！

アイ　あ、あんたは！あの失礼なドール！！

セカンド　え何、真壁？ああ、あのプライドだけは高いけど頭悪い子？（サード放置）なんだ人間じゃん。紛らわしいなあ。

エース　セカンド、やめなさい。

ファースト　だったらはやく病院にでも

エース　真壁さん、とりあえず真壁さんに電話するから

セカンド　どっちも真壁！

アイ　その苗字嫌い。下の名前で呼んで！アイよ。

エース　では、アイさん、電話するよ。

アイ　あ、ダメ、待って！

セカンド　なんで？

アイ　今帰ったら部屋に閉じ込められて朝まで勉強させられちゃう。

サード　学ぶことはとつても面白いのです。

セカンド　あ、起きた。

アイ　うちのママ、学歴至上主義だから、私の気持ちや意見なんて完全無視。

エース　幸せなことですよ、家族がいるって。僕らからすると羨ましいくらいに。

アイ　あっそ。

ファースト　ほんと我儘だな。

アイ　はあ？偉そうに。なんも知らないくせに。ドールにはね、私たち人間のことはわからないわよ。

エース　聞き捨てなりませんね。当店はお客様の心に寄り添うプロフェッショナル、優秀なドールばかりです。

アイ　ふーん、そんなにすごいならママに言ってやってよね。

セカンド　なにを？

アイ　「アイさんに勉強なんて必要ないです。好きなことをさせてあげましょう」って。（ファーストをマネて）

エース　確かにうちはなんでも屋ですが、そのようなご依頼は受け付けておりません。
ファースト　残念だったな。

アイ　うるさい。……親だからってそんなに偉いの？

フォース、アイの手を取って

フォース　「ママは私を思い通りにしたいだけ」

アイ　え、なに。

フォース　「私は歌手になりたいのにママは応援してくれない」

アイ　怖いんだけど

フォース　「ママを見返してやりたい」

アイ・フォース　「「なんで心読めるの？」」

フォース　「って思ってるんだね。」

フォース、アイの手を離す

サード　フォース、さすがなのです！

エース　こら、むやみやたらにお客様の心を覗かないの。

フォース　はい。

アイ　え、待って。何が起きたの？

ファースト　だから言っただろ、俺たちは優秀なドールだって。

セカンド　どう？私たちがすごいでしょ！

アイ　うーん。

ファイブ　信じてなさそうね。

エース　じゃあ、せつかくですし自己紹介しましょうか。はい、みんな並んで！

ドール達　はい！

ドールが一行に並ぶ

エース　まずはこちらのファースト。あの天才科学者キートン博士のDNAを使用しております、**10**はなんと99

9です。

ファースト つまり、天才です。

アイ そんなにすごいドールだったの？

エース お次はセカンド。ノーブランドの DNA ながら、記憶力は抜群です。

セカンド おしゃべり好きなの。一度会った人のことは絶対に忘れない。これって大事でしょ。

アイ あなたも相当頭いいってことでしょ。

エース スーパーアスリート、アルマイカのソルト選手の DNA 搭載のサード。

サード 運動神経抜群なのです。

アイ つまり脳筋。

エース どんどんいきますよ。

フォース フォースです。ノーブランド、心の奥までお見通しよ。

ファイフス ファーフス。修理ならお任せを。機械に、ドール、あ、人間も。

エース そして僕はエース。この店の店主をします。奥にもまだいますよ。

アイ みんなここで暮らしてるの？

セカンド そう。すっごく楽しいよ！

アイ ん？でもハッピードールって完全注文生産で、家族の一員として家庭で過ごすか、労働力として会社に派遣されるかみたいなき感じじゃないの？なんでみんなここに？

ファースト ヘー意外と知ってることもあるんだな。

エース ファースト。

ファイフス その辺は色々ね……。

サード ここのお店は違法なのです！

エース おい！

アイ 違法！？

エース まあそこは政府も目をつぶって

アイ え、なに、訳アリってこと？不良品？飼い主の都合で返品？捨てられた？

ファースト ほんとに口が達者だな。

セカンド 飼い主って言い方やめてよね。

アイ あたりなんだ。

サード サード、ある朝目が覚めたらゴミ捨て場だったのです。

エース なんだかんだで行き場がなくなったドール同士こうやって肩を寄せ合い、暮らしてるんです。

あ！脱走？

ファースト 先にはぐれドールやっつたエースが俺たちを拾ってくれてこの店を始めたんだ。
アイ はぐれドールってつまり、野良じゃんww
セカンド 元持ち主としては廃棄処分したいのが本音なんだろうけど、一応、私たちが生きてるからね。
フォース というか、死なないし、私たち。

ハッピードール一同、笑う。

アイ え、死なない？

エース あー、旧人類のアイさんは知らないかもしれませんが、ずばり、僕たちは、死にません。

ファースト ハッピードールの製造が始まった当時、再生医療の分野では、理論上、ほぼ無限に増殖を続ける細胞の
開発に成功していたんだよ。

アイ わかるように話してよ。

セカンド 頭悪い子にもわかるように。

フォース まず、よく勘違いされるけど、私たちは「搭載ロボットじゃなくて、あくまでも工場生まれの人間。生
き物なの。」

ファースト で、その無限に増殖する細胞がどう作用するかというと、例えば、大けがをして体が機能停止するとし
よう。人間でいうと「死」だな。そうすると、脳はスリープ状態に入りデータを守る。記憶データが
完全に保存されたら、体の細胞が再生、修復を始める。破損の程度にもよるけど、2，3日もあれば
元通りになるんだ。

サード サード、これまでに3回、修復を経験しているのです。

アイ ヘマも多いってことね。

サード 危険な仕事を引き受けてるのです。

アイ でも、もし脳が損傷したらどうなるの？

フォース 常に記憶のバックアップがあるから大丈夫。正規ルートのドールは労働人口管理局が一括でデータのバッ
クアップを取っているの。

ファイブ 私たち、いわゆるはぐれドールは自分でバックアップしないとだめだけどね。

セカンド 店の事務所が一番場所食ってるのはバックアップ用のハードディスクだよ。 (ドールたち、わいのわいの)

アイ みんな年齢バラバラそうなのに仲いいんだね。

ファースト あー、俺たち年取らないから。今さら年齢なんて気にしないな。

アイ え？

エース 工場で促成培養して、労働力として旬な時期に出荷されるので。出荷されたら、基本的にはそのままです
ね。

アイ 死なないし、年も取らないの？

エース はい。

アイ なんか、人間とは全然違うんだね。

セカンド そんなことないよ。ドールにだって性格あるもん。

アイ 性格？

エース ドール購入時に雇い主、または家族が設定しているんです。

アイ へー（とファーストのほうを見る）

ファースト ん？

アイ いやあ？

フォース 「ファーストの親はこの性格がよかったのか」って。

アイ 心読まないで！

ファースト 失礼な。ま、俺の場合は雇い主だけだな。工場の労働力として生まれたから。

アイ そ、そっか。なんかごめん。

セカンド でもアイちゃん、まだまだだねー。

アイ なにが？

セカンド ファーストは口下手なだけだもん。

アイ ほんとに？

フォース ほんとだよ。

サード いつも助けてくれるのです！

ファイブ 私たちだけ、だけどね（ドールたち、わいのわいの）

アイ、楽しそうなドールたちを羨ましく思う。

アイ ドールって幸せそうだね。

サード だからハッピードールなのです！

ファイブ アイちゃんもいつでも遊びにおいで。

アイ いいの？

セカンド 困ったらフォースが相談乗ってくれるよ。

フォース もちろん。契約してくれたらね。

アイ しっかりお金取るのね。

フォースト ところで俺から提案だが、これから君はここで勉強したらどうだ？

アイ え？

セカンド 楽しそう！

アイ だから私、勉強は

フォースト 勉強で一番になって真壁様を納得させるんだ。そしたら好きなこと、できるんじゃないか？

エース 相変わらず世話焼きなお兄ちゃんだな。

サード さすがなのです！

アイ ……そっか、そうだね。わかった。私、ママにぎやふんつて言わせる！

ドール全員 おおー！

フォースト 店長、お仕事のご依頼です。

エース ああ。じゃあフォースト、任せた。

フォースト では、さっそく始めましょうか。

アイ 頼んだからね。

フォーストは裏へ。

ついでにこうとするアイ、同時に電話が鳴る。

エース もしもし……、え！明日ですか？いつも急なんだから……え、いや何でもないです。わかりました。ご利用

用ありがとうございます。はい、では。

盗み聞きしたアイ、にやり。

場面転換。天才科学者狂楽来の家。エースが訪れている。

狂楽来 いやあわざわざ来てもらって悪いね。

エース 本当に悪いと思ってます？

狂楽来 思ってるよ。

エース かの有名な「天才科学者狂楽来博士」だから許してますけど、急なドールのご購入は控えてくださいね。うちの経営に関わるんで。

狂楽来 はいはい。

エース にしてもドールを3人も買って何に使うんです？

狂楽来 色々だよ、色々。天才は忙しいからな。

エース 政府に干されてるくせに……。

狂楽来 なんだ？

エース いえ、なんでも。そういえばハッピードール、生産できなくなるそうですね。

狂楽来 ハッピーフラワーがなくなった時点でドールは終わりだからね。

アイ (ひよっこり出てきて) ハッピーフラワーってなに？

エース !なんでついてきてるの。

アイ 電話の相手、誰なのかなーって。

エース あのね、アイさん、

アイ ハッピーフラワーって花の名前？見たことない。

狂楽来 そりゃそうだ。絶海の孤島フォン島にしか咲いてなかった希少な植物だ。

アイ 咲いてな「かった」？

エース つい最近、海面上昇で海に沈んだ島なので。新鮮なものしか材料にならないからストックもない。ドールは

もう作れないんです。

アイ へえ。

エース ここ数日、ニュースになってたと思うけど

アイ 勉強ばかりだったから。

エース ああ。

アイ え、じゃあこれから人類はどうなるの？

狂楽来 どうって？

アイ ドールが作れなきや「世界人口維持計画」はどうするのってこと。

狂楽来 ところで君は誰？

エース うちのお客様、のお嬢さん。

アイ アイです。

狂楽来

「世界人口維持計画」ね。もう十年か。

アイ

はいはい（ノート開いて）。「ハッピードールの誕生について。新型プロミネンスウイルスパンデミックにより人類は半数に激減、また後遺症として出生率の深刻な低下を招いた。政府は労働力確保のための緊急措置として最新の科学技術投入を決断。その一つが、工場生産型人間、通称ハッピードールである。この技術の乱用、およびドールの犯罪利用を防止するため、ドールには戸籍を与え、憲法が基本的人権を保障している。」まる。

狂楽来

よく勉強しとるやないの。

アイ

ママをぎやふん、です。

狂楽来

ん？

エース

世界人口維持計画は頓挫したようなものですよ。

狂楽来

いやいや、しぶといよ人類は。その英知をかけてこの地球を支配する。ドールは人口維持の単なる一手段に

エース

すぎないよ。

狂楽来

プロミネンスの影響で出生率は絶望的ですよ。人間の手で人間を作る方法はすでに複数が実用化されてる。一般市民が気づかないうちひっそりとね。人類

エース

の数を人類がコントロールする時代だよ。

狂楽来

ドールに代わる新しい何かが生まれるんでしょうか。

エース

そうね。人間は愚かな生き物だから。楽な暮らしを求めてドールを作ったかと思えば、それに仕事奪われて

狂楽来

大騒ぎして。人権なんて認めたくせに都合が悪くなったら製造中止。そしてこりもせず似たようなことを

エース

また繰り返す。本当に可哀想だよ、人間ってのは。

狂楽来

人間の知能を超えないようにってかけたリミッターもどこまであてになるか分かりませんしね。

アイ

とりあえず死なないドールが賢くなりすぎると人間が困るってこと？

エース

簡単に言うとな。

アイ

やっぱり難しい話、好きじゃない。

エース

アイ

狂楽来

アイ

狂楽来

アイ

狂楽来

アイ

狂楽来

アイ

狂楽来

アイ

狂楽来

アイ

狂楽来

アイ

アイ 「かつては」の話よね。だって、見るからに暇そう
エース しっ！
狂楽来 僕の時代はいずれまた来る。今に見とけよ。じゃあまた呼ぶよ、エース。
エース ご利用の際は早めの連絡でお願いしますね。
狂楽来 次も安い雑魚で十分だからな。
エース わかりました。では、失礼します。

場面転換。エースの店。

フアースト まさか博士に会うなんてな。
エース もうついてきたらダメですからね。
アイ はい。
セカンド あの人以上にかわいでしょ。
アイ そう？面白い人だったけど。あ、でも嘘つきだった。
フオース 嘘つき？
アイ うん、自分のこと天才って。
ファイフス 実際天才だけだね。ドールの生みの親だから。
アイ え、本当だったんだ。
フアースト ドール製造中止の件、何か言っていました？
エース 本人は関係ないって感じだったけど、博士のことは僕もよくわからないから。
サード そういえばハッピーフラワーってなんで必要なのですか？
フアースト 知性を開花させるためだよ。
ファイフス フラワーなしで製造すると、ドールは人としての知能や知性を持つことができないからね。
セカンド 脳の発達に関わるんだ。
フオース ああ、イースト菌なしのメロンパンがどうしても膨らまない、あの感じね？
アイ よくわからない。
サード パンで思い出したけど、食事の時間なのです。
エース そうだな。

一同、おやつ皿のようなものにカリカリをとりわけ、食べ始める。

ファースト ちゃんと食べないと機能停止しちゃうからな。これも仕事。

サード アイちゃんも食べるのです！（と、カリカリの皿を渡す）

アイ え、なにこれ。（受け取ってしまった）

サード 太陽エネルギーを固形化したものなのです！

アイ 食べれるけどこれが一番効率いいから。普通のご飯は？

セカンド へえ……。

フォース 社会勉強と思って食べれば。

エース 奥の子にも渡してくるね。

エースは裏へ。アイ、皿を返そうとするが失敗。

無心にカリカリを食べるドールたち。

アイ、恐る恐る一つ口に入れてみる。

あれ？意外とおいしい。

場面転換。狂楽来の家。

狂楽来 いやいよ僕の時代が、来ちゃったんじゃないの？僕を干した政府のお偉いさん方、吠え面かくなよ。

エースが息を切らしてやってくる。

エース 何ですか、急いで来いって。

狂楽来 君だけに見せてやる。いいか驚くなよ。

エース はい。

狂楽来 いや、やっぱ驚け。

エース どっちだよ。

狂楽来、高笑いしながら一人の女性を連れて登場。とても美しいが無表情である。

狂楽来　じゃーん！

エース　これって、

狂楽来　そうだよ。ハッピードールだよ。

エース　今どきこんなのよくいましたね。どこで拾ったんですか。

狂楽来　拾ったんじゃないよ。

エース　え。

狂楽来　ふふ。作ったの。

エース　は？

狂楽来　だが？僕が。不可能を可能にする天才科学者狂楽来博士が、新たなハッピードールの製造に成功しました！どうだ！

エース　でも、もう作れないはずじゃ。

狂楽来　天才のひらめきで奇跡は起こせるものだ。

エース　誰の DNA ですか？

狂楽来　天才科学者狂楽来様のだ！

エース　えっ

狂楽来　髪の毛一本でも貴重な DNA なのさ。

エース　いやでも、ハッピーフラワーがないと絶対に無理だつて。

狂楽来　それが、手に入っちゃったんだな。

エース　どうやって？あれから何日？そんなにはやくできるもの？

狂楽来　ふふ。違うのだよ、天才は。

エース　冗談が過ぎますつて。どこかで拾ってきたんでしょ。

狂楽来　まさか。

エース　あ、製造番号。工場出荷時の製造番号が、

新ドールの背後に回り込みうなじのあたりを見る。

エース　ない。

狂楽来　そんなところにや何もないよ。サインなら堂々とな。

狂楽来、ドールの腕を取って、袖をまくり上げる。
油性マジックで狂楽来のサインが書いてある。

エース 「天才科学者狂楽来さく」。雑だな。

狂楽来 ハッピードールに代わる天才狂楽来のスーパードールだ。人類の新しい子ども、新しい孫。
エース 見た目、特に新しくもないですけど。

狂楽来 お前の店で働かせてやってもいい。ハッピードールたちにお友達を紹介してやれ。

場面転換。エースの店。

ドールたちが新入りのスーパードールを囲んで、狂楽来を質問攻めしている。
エースはその輪から外れている。

セカンド これが新しいドール？

狂楽来 世界一のスーパードールだ。どこがすごいと思う。

目を開けずスーパードールはじつと座っている。

アイ 不愛想選手権世界第一位。

狂楽来 残念。

セカンド 長時間耐久座りっぱなしレース優勝候補。

狂楽来 違うな。

アイ ここじゃない？

と、袖をまくって腕のサインを見せる。

一同 おおー。

狂楽来 ちっちゃっち。まず、痛みには鈍感。

セカンド それは同じだね。

狂楽来 いや、君たちが感じる痛みが数値で10とすれば、スーパードールは0.01以下だ。

サード ある程度は痛覚がないと大ケガするのです。

狂楽来 ケガはしないから大丈夫。皮膚は *META* の宇宙船にも使われるグラスファイバーと軟質セラミックできてるから耐久性も耐熱性も抜群。

サード へえー。修復の必要もないのですね。

狂楽来 ああ、ついでに耐放射性機能もプラスしといた。

ファースト いつ使うんです、その機能。

狂楽来 あと、これは大きいぞ。食事の必要、なし。

セカンド えー。

狂楽来 僕が開発した生体永久機関だ。心臓の動きでエネルギーを生みまた心臓を動かす。全身にいきわたるに十分なエネルギーがこれで確保できる。

アイ 今、これ、稼働してるの？

狂楽来 自動省エネモードだ。

アイ ふうん。

相変わらずスーパードールは黙って座っている。

狂楽来 それから、従来のドールと違って、無限に学習を続ける。

ファースト 知識量ですぐに俺らを超えるのか。

狂楽来 そして、スーパードールは、絶対に、死なない。

アイ へえー。なんか、ロボットみたいだね。

狂楽来 失礼だな。あんな大昔のガラクタと一緒にするなよ。

セカンド しゃべれないけど話できるの？

狂楽来 ああ。今もこうして僕たちの会話を処理して片時も休まず学習している。最適のタイミングで会話に入ってきてくれるはずだ。

アイ 本当に話聞こえてるのかな。

一同、スーパードール（と呼ばれることになったドール）をじろじろと観察する。

スーパードールはスイッチが入ったかのようにこの上なく魅力的なしぐさで、

スー そんなに見つめられると恥ずかしいです。

ドール全員・アイ　しゃべった！

スー　狂楽来博士。

狂楽来　・・・。（誰よりも驚いてフリーズしている）

スー　世界があつと驚く発明で国民の尊敬を一心に集める狂楽来博士。

狂楽来　なんだ。

セカンド　無駄な情報インストールしたでしょ。

狂楽来　いや、学習能力のなせる業だ。

スー　私、お友達が欲しいです。皆さんといっしょにお店で働かせてください。

セカンド　すごい。もうお店のことも理解してる。

スー　店長、よろしくお願いします。

エース　ああ。よろしく。

狂楽来　じゃ、君たち、いろいろ教えてやってくれ。教えなくても自分で吸収するけどな。名前は、スーパードールのスーだ。

狂楽来、去る。ドールたちはスーを歓待している。

エースは浮かない顔をしている。

照明はアイとファーストにサス。交互にスーを紹介していく。

アイ　気立てが良くて美人。

ファースト　気が利くし体は丈夫。

アイ　知識は無限に増え日に日に賢くなる。

ファースト　食糧も足りない。

アイ　そして

ファースト・アイ　死なない。スーはあつという間に仕事を覚えて、あつという間に売上げナンバーワンのドールになった。

ドールたち　いらっしやいませ！　ありがとうございます！　いらっしやいませ！　ありがとうございます！　いらっしやいませ！　ありがとうございます！

客がぐるぐると訪れている。

ドールたち　ありがとうございます！

スーは深くお辞儀をして店の奥へ。

ほかのドールたちが店でだらっとしている。

アイが出てきて椅子に座る。

セカンド　売り上げはめっちゃ増えたけど

アイ　暇そうだね。

サード　出番が少なくて体が鈍るのです。

ファースト　なんだか、エースが店を始めたばかりのころみたいだな。

ファイブ　エースが拾ってくれなかったら、どこかで野垂れ死にしていたかも。

フォース　カリカリないと、さすがにうちら停止しちゃうもんね。

アイ　この店の始まり？　その話聞きたい。

ファイブ　私はお父さんに気に入ってもらえなかったな。

セカンド　両親に子供ができたからもういらなくなって言われて家を出た。

フォース　私は三軒の家庭を渡り歩いたよ。

アイ　みんな大変だったんだ。……なんかごめんね。

ファースト　え？

アイ　私たち人間のエゴ？　って言うのかな。みんなはたくさん感じてきたんだろうなって思って。

サード　サードたちハッピードールは、働く生き物。それでいいのです。

フォース　「人間をハッピーに」これ、第一。

ファイブ　人間の幸せのために。ハッピードールの存在理由。

セカンド　人間の幸せがドールの幸せ。

アイ　無表情でそういうこと言うのやめてよ。

ファースト　俺らそういう風にプログラムされているから。それに君のせいじゃない。

セカンド　そうだよ、謝らないで。

サード　みんなとられるから十分なのです。

アイ　……そっか。

ドアベル。慌てた様子で狂楽来が飛び込んでくる。
奥からスーが出てきて、

スー いらつしやいませ。天才科学者狂楽来博士、

狂楽来 エースを呼べ。

スー かしこまりました。

狂楽来 急げ！

エースが店の奥から出てくる。

エース 博士。

狂楽来 新薬を開発することになった。

エース 新薬？

狂楽来 そうだよ、世界を救う新薬だ！

エース 何のことですか？

狂楽来 まだ知らないのか。スー！

スー かしこまりました。

スー、察してテレビをつける。皆が食い入るように画面を見つめる。

キャスター オーリオ共和国で発生した謎の病気が今週に入り驚異の拡大を見せていま
型プロミネンスウイルスの約500倍の感染力を持つとの見解を 示しており、本日午後、政府は緊急特別
措置として明日にも外出禁止令を發 令、一週間以内に全国の市町村でロックダウンを行うと正式発表し

ました。 現在ウイルスによるものとの見方が有力ですが、未知の病原体である可能性
WHO は否定していません。有効な治療法はなく、致死率は100%と厳し
い状況が続いています。な

お・・・

狂楽来 ついに来た！僕の時代が！僕にはできる。僕にしか作れない薬だ。

スー おめでとうございます。

狂楽来 おいエース、スーを使うぞ。

エース え？

狂楽来 薬の原料を採取しに行くんだよ。

エース 原料ならうちで手配を、

狂楽来 待てるか。こうしている間にも、人が死んでいる。お前も行ってくれるな、スー。

スー 世界に必要とあらば。

狂楽来 必要だよ。世界にはお前が、そして僕が！

エース 行くってどこへ？

狂楽来 関の上原子力発電所跡地だ。

ファイブス 関の上原発？ 人類史上最悪の原発事故で永久に立ち入り禁止では。

狂楽来 だから、スーが行くんだよ。

アイ あ、耐放射性物質！

狂楽来 スーの性能はまるで僕の予言だな。これが天才だよ。

ファイブス 跡地には何が？

狂楽来 新薬の原材料になるレアアースだ。放射性物質汚染で誰も手が出せないが、スーなら問題ない。

ファイブス 出来上がった薬に放射能の危険は？

狂楽来 そこも狙いだ。

ファイブス え。

狂楽来 未知には未知で対抗する。

エース でたらめだ。

狂楽来 試す価値はある。ああ、ほかのドールはそのとき役に立ってもらおうな。

エース そのとき？

狂楽来 新薬の実験だよ。

エース そんな危険なことはさせられない。

狂楽来 (アイに)お嬢ちゃん、遺伝子操作のタブーまで犯して人類がドールを作った目的は？

アイ 労働力の確保。

狂楽来 ドールの行動原理は？

アイ 人間の幸せのため、それがドールの存在理由。

狂楽来 そうだ。今がその時だよ。

フォース でも私たちは、人口の急激な減少をきっかけに労働力として、

狂楽来 ただの労働力ならただのAI搭載ロボットでも、いや旧式ロボットでもよかったんだよ？
エース ドールは使わせない。
狂楽来 頑固な店主だなあ。

スー、突然動き出し、狂楽来のもとへ。

スー 博士、ここにいるのは三十体ほどです。そうそう壊れることもないでしょうから十分かと。

エース スー？何言ってる、

スー 開発には時間を要します。早めに動くのが得策かと。

狂楽来 そうだなー。

セカンド スーちゃん、なんで。

サード スーはサードたちのお友達じゃなかったのですか？

狂楽来 ん？

ファースト サード、スーは友達なんかじゃない。あれは、

狂楽来 君はファーストだったか。聞いてた通り勘のいいやつだな。

ファイブス 聞いてた通り？

狂楽来 スーはずっと君たちを監視してた。それだけだよ。

フォース 何のために。

狂楽来 答えはひとつしかないだろう。

ファースト 俺たちを支配するため、ですか。

狂楽来 大正解だよ、ファーストくん。

スー ……。

エース ふざけるな！そもそもどうやってスーを作ったんだ。

狂楽来 だから僕のDNAを

エース ハッピーフラワーは。

狂楽来 中古のドールから抽出させていただいたよ。

エース なんてことを！

狂楽来 捨てればごみ、分ければ資源。我ながらいいひらめきだった。

エース ごみ？

エース、怒りと驚きで声も出ない。

狂楽来 そう騒ぐな。どーせ全部忘れるんだからさ。
エース え。

狂楽来、エースに近づく。
それを見たファーストが狂楽来に殴りかかる。
しかしファースト、狂楽来に反撃され、うなじにあるリセットボタンを押され、
その場に倒れこむ。

エース ファースト！

フォース なにしたのよ！

狂楽来 ただの再起動だよ。PCがバグったときと同じさ。

アイ ドールは機械じゃない！ファースト、ファースト！

ファイフスとアイ、ファーストに駆け寄る。

他のドールたち、何が起きたのか分からず困惑している。

エースが前に出て皆をかばう。

ファイフス !はやく起こさないと……

ファイフスがファーストに手をかけると同時に、狂楽来、小さな端末を取り出すと華麗な手つきで操作をする。
と、エースの背後で一人またひとりドールが倒れていく。

アイ ファイフス！フォース！ああ！！

エース どういうことだ。

狂楽来 スー、説明してやってくれ。

スー ドールの情報は人口管理局が掌握しています。

エース 僕たちは捨てられたドールだ。

スー 生活の場所がどこであれ、ドールのデータは管理局のネットワークを遮断できません。

エース だけど今は国の仕事を外れているはず。

狂楽来 表舞台から身を引いただけさ。

エース え？

狂楽来 今の僕は「はぐれドール」の管理人だよ。ドールとしての戸籍すら与えられない可哀想な君たちのね。

エース 何を言ってる？

狂楽来 つまり「はぐれドール」である限り、リセットも一括削除も機能停止も僕の手にあるということだよ。

エース なぜ博士が。

狂楽来 問題児でろくに使えない君たちを扱えるのはこの僕しかいないからだよ。

エース ……。

狂楽来 だからさ、君がどんなに頑張っても、ドールのふりをしても、わかっていたよ。ね、エースくん。

アイ ドールのふり？

エース 違う！

狂楽来 うまく化けると感心していたよ。現に、この店の客はみんな、君のことをドールだと信じているからね。

エース 僕はドールだ！人間なんかじゃない。

アイ エース？

狂楽来 まさかドールになりたがる人間がいるとはね。

エース 僕は、

アイ どういうこと？

狂楽来 ほら、こいつら（床に転がっている）と違うだろ？

アイ エース。

狂楽来 ああ、そうだ、ついでに君もリセットしておこうか。ねえ、お嬢ちゃん。

アイ え？

ドアベルが鳴る。取り乱した真壁夫人が現れる。

真壁 アイ！ここにいたの、心配させて！

アイ ママ、

と同時に狂楽来、端末を操作する。と、アイが倒れる。

真壁 アイ！

真壁、アイに駆け寄り、

真壁 アイ、アイ！アイはどうしたの！エースさん？

エース どういうことだ、狂楽来！

狂楽来 すべての「はぐれドール」を、たった今、一括リセット、初期化しました。

エース え？

狂楽来 そちらのお客様は、お嬢さんがドールだということは当然ご存じだったのでしよう。

真壁 知っていたらどうなの。

エース 真壁さま？

真壁 この子は娘よ。命より大事な私の娘よ！

狂楽来 いいえ、お嬢さんはあなたが拾った「はぐれドール」です。

真壁 そうよ。それが何よ。

狂楽来 お嬢さんは、人間でもなければ正規のドールでもない。よくそんなものに情がわくなあと。

真壁 ほかのドールのように働かせてたまるものですか。大事な私の娘。アイはずっと17才だけど、私のもとで

おおきくなったのよ。

真壁、ハッピードールのアイに愛情を注いだ日々を思い出している。

狂楽来 お嬢さんはこれから人類のために最も尊い仕事をするのです。

エース アイさんがドール？そんな馬鹿な。

狂楽来 これを見てもまだ信じられないか。

エース ドールのはずがない。アイさんは馬鹿でわがままで感情の起伏が激しくて、

真壁 それがなんなの！私はアイさえいれば何もいらなのよ。

狂楽来 それは非常に勝手な考え方ですね。一人のドールの命と人類の未来を天秤にかけたら、どちらが大切か、答

えは明白でしょう。

真壁 私は命だつて差し出すわ。お願いだからアイを返してちょうだい。

狂楽来 残念ですが命の交換はできないんですよ。いくら僕が天才科学者といえども。

真壁さま、落ち着いてください。アイさんは死んではいません。初期化しただけです。

真壁 初期化？記憶なくしてしまったの？
スー お気の毒ですが、あなたと暮らした記憶はもうありません。

真壁、全身の力が抜ける。絶望か、安堵か。

真壁 アイは目を覚ますのね。
スー はい。工場出荷時と同じ状態で。
真壁 別人でもいいわ。私を忘れていた方がいい。生きてさえいてくれれば。
アイが生きている。これ以上の喜びはないわ。

アイが目を覚ます。

真壁 アイ！

まだもうろうとしているアイ。

スー 再起動しようです。
狂楽来 よし、準備完了だ。まもなくほかのドールも再起動する。
スー はい。

アイ ママ？
真壁 わかるの？
アイ あなたはママ！
真壁 アイ。

ただただアイを抱きしめる真壁。

狂楽来 初期化に失敗している？ どういうことだ。
スー 記憶は消去されています。ですが、想定よりもはるかに深い部分での交流がお二人にはあったのかと。
狂楽来 深い部分だと？なんだそれは！

スー 心、もしくは愛情です。

狂楽来 ドールに人間の心が理解できるはずがない。感情の学習にもリミッターがかけてある。スー お母様の深く強い愛が、リミッターを外すほどであったということでは。

狂楽来 僕の設定が破られたと？

スー はい。それに、博士ご自身も初めはアイさんがドールだとお気づきにならなかった。

狂楽来 馬鹿な。ドールに感情が？バグだ。

スー 博士、

狂楽来 店の奥にいるドールも連れて行くぞ。

スー はい。

狂楽来 急げ。

狂楽来、スーを伴って店の奥へ消える。

エース ドールになりたかった。あんな親といくらなら天涯孤独の方がまだと家を出た。血のつながりを絶ちたいと何度願ったことか。でもそれ以上に、親を憎む自分がどんなに嫌いだったか。

エース、自嘲するかのようにならう。

エース 自分の中のどろどろを捨てたくて、自分をドールだと偽ってきた。いや、僕はドールになったんだ。穏やかに幸せな毎日。僕の幸せを返してくれ。

ひとりひとり、ドールたちが目を覚ます。表情はない。

記憶は消去、初期化が完了したのだ。

エース みんな、目を覚ましたのか？

ファースト 人間の幸せがドールの幸せ。

エース だったら！僕の幸せはどうなるんだ。

セカンド 私たちのすべては人間のために。

サード 人類を救うために。

フォース 人類の未来のために。
ファイフス だから私たちは行かないと。
エース 僕をおいていかないでくれ。

エースの声は届かないまま、ドールたちは去ろうとする。

エース みんな……。

エースが崩れ落ちると、

ファイフス 私たちのこと？

エース ファイフス、覚えてるのか？

ファイフス ……。

フォース どうしてそんなに悲しそうにするの？

エース フォース。

サード 病気が怖いのですか？

エース サード。

セカンド 私たちが助けるから大丈夫だよ。

エース ……ちがう、ちがうよセカンド。僕を一人にしないでくれ…。

ファースト だから行くんだよ。

エース ファースト。

ファースト 人間を守るために。

ドールたちが動き出していく。

エース いやだ。待って、待ってくれ。みんながいないと僕は……。

エース、ドールたちとの日々を思い出しながら

エース ほら覚えてるでしょ？みんなと出会って店始めようって、一緒に看板作って。

無慈悲にもドールたちは立ち止まらない。

エース サードがペンキこぼして、みんなで笑いながら掃除して。……ねえ思い出して。誰か、返事してよ。

エースの声は届かないまま、ドールたちが消えていく。
最後に残されたファーストが立ち止まり、振り返る。

ファースト エース。

エース え。

ファースト 待っていてください。

ファースト、みんなに続いて消えていく。エース、その場に崩れ落ちる。
アイ、ドールたちと一緒にここにいる。

真壁 行かないで。アイがいなくなったらママはどうしたらいいの。

アイ ママ、私はドール。人間のために働くのが私の喜び。

真壁 ほかの人間なんてどうでもいい。世界がなくなってもあなたさえいてくれたらそれでいい。

アイ ママ。

真壁 行かないでちょうだい、ママのために。

アイ 行くよ。

真壁 だめ。

アイ ママのために行くよ。

真壁 いや、行かないで。

アイ ママのためだよ。

狂楽来、スーを連れて店の奥から出てくる。

狂楽来 スー、身体に不具合はないか。
スー 全く問題ありません。

狂楽来 ならいい。ほらアイ、なにボケつとしてる。早く支度をしろ。

エース もういいだろ、狂楽来。

狂楽来 なんだ。

エース もう失いたくない。せめて、アイさんだけは。頼むから……。

狂楽来 (エースを無視して) アイ、時間がない。急げ！

エース ドールだつて心を持つてるんだ！僕たちと同じ生き物なんだよ。

狂楽来 ドールは人類が生み出したエゴそのもの。そこに情なんてない。わかっているだろう。

エース それなら、人間なんて滅びてしまえばいい！

狂楽来 はあ、もういい。スー、アイを連れてこい。

スー、無反応

狂楽来 早くしろ、スー！

スー、何も言わないまま、狂楽来に近づく。

狂楽来 なんだ、

スー、狂楽来から端末を奪う

スー エースさん！

端末をエースへ投げ、狂楽来の肩を掴む。

エース、慌てて端末を操作する。

狂楽来 スー、勝手なことをするな！お前はただの監視役だ！

スー 私たちは人間のために存在するんです。

スー、力を強める。狂楽来の顔が苦痛にゆがむ。

狂楽来 くっ

狂楽来、倒れる。

スー エースさん、アイさんの記憶を！
エース どこだ…あつた！

エース、アイの記憶データを再インストールする。
もう一度倒れこんだアイ。

真壁 アイに何をしたの！
エース アイさんの記憶データを再インストールしました。
真壁 記憶を？ アイ、しっかりして、目を開けて！

狂楽来、なんとか立ち上がり、エースから端末を奪おうとする。
エース、狂楽来を避けるものの、腹部を蹴られて倒れこむ。
端末を取り返した狂楽来も力尽きる。

スー、狂楽来のもとへ、ゆっくりと近づく。

狂楽来 スー、よくもこの僕に、手荒な真似を…

スー 私は博士のお力を信じています。博士が世界のために働くのなら私は何だって致します。

狂楽来 それなら！

スー ですが貴方のドールに対する敬意の無さは理解しかねます。

狂楽来 なに？

スー 私たちは貴方のおもちやでも道具でもない。生き物です。どうかそれを分かってください。

狂楽来 何が言いたい。

スー 新薬の実験、必要のない犠牲は出さないと約束してください。

狂楽来 ふざけるな、僕はお前の生みの親だ！

スー 約束できないのなら私は行きません。

狂楽来 行かない？
スー ええ。いくら博士が天才でも私がいなければ何もできないでしょう。
狂楽来 ……開発は僕にしかできない。名声を受けるのは僕以外は許されない。
スー はい、博士なら世界を救えます。
狂楽来 ……二度と僕に指図するな。行くぞ。世界が僕を待っている。
スー はい。

狂楽来はスーを連れて出ていく。

アイ、再び目を覚ます。泣き崩れ抱きしめる母にそつともたれかかる。

アイ ママ。
真壁 何。

アイ ママ、ドールの私を人間にしようとしてくれたんだね。

真壁 そうよ。

アイ いつも私のこと思ってくれてたんだね。

真壁 ええ。

アイ ごめんね。やっぱり私、行ってくる。でも絶対に帰ってくるから。待ってて。

真壁 いつまで？

アイ わかんない。でも、待ってて。

真壁 ずっと待ってはいられないの。だってママの方が先に死んじゃうんだから。

アイ ママ、死んじゃうの。

真壁 いつかはね。

アイ そばにいてくれないの。

真壁 アイちゃんのそばに最後までいてくれるのは、アイちゃん自身よ。

アイ 私自身？

真壁 アイちゃんがお勉強したことはずっとここにあってアイちゃんから離れたりしないわ。

アイ ママ、ありがとう。私、ママの子供になれてよかった。

真壁 アイ。

真壁、アイをぎゅっと抱きしめた後。

真壁 お家で待ってるわ。ずっと。

真壁、アイの頬をなでると、何かを決意したように店を出ていく。

取り残されたエースが立ち上がる。
アイが近づく。

エース 行くのか？
アイ うん。

アイ、店の入り口に向かって歩いていく。
入り口で足を止めて振り返る。

アイ エース！みんなそこ（ハート、胸）にいるよ。
エース ？

アイ、店の外に出ていく。
エース、店の入り口を見つめて、嗚咽をこらえる。
ふと頭に浮かんだ店の宣伝文句を訥々と口ずさむ。

エース なんでもやります「ハートのエース」、あなたの笑顔が見たいから。
やがてドールたちの声が重なっていく。

エース 掃除、買い物、人探し、犬の散歩に庭の草刈り。家電修理もお手のもの。聞かせてあなたの困りごと。まず
はお電話8100810。

次第に目の光を取り戻していくエース。
エースの中にはともに暮らし、心を通じ合ったドールたちが生きているのかもしれない。
ない。

エース、何かを決意したように顔を上げて、

エース　　そう、「ハートのエース」！

時が流れ、エースはいつもと変わらず開店の準備をしている。
朝のニュースの時間。

キヤスター　……厳しい暑さに十分ご注意ください。ここで速報です。未知の病原体によるものとされていた謎の病
気、ラムセスウイルス感染症の治療薬がついに完成したとの情報がたった今、入ってきました。

エース、作業していた手を止め、椅子に座り、食い入るようにテレビを見る。

キヤスター　政府によりますと、治療薬の実験についてはハッピードールを使用して行われ、実験に使われたドール
には放射能により機能停止が見られるものもあるということです。政府は今日の午後一時より、薬の開発者
である狂楽来博士による緊急記者会見を予定しています。続いてのニュースです。……

エースがうなだれる。と、ドアベルが鳴る。

ファースト　エース！

ファーストが現れる。

エース　　ファースト、無事なのか。

ファースト　ああ。

エース　　記憶は？

アイが顔を出す。

アイ 残ってるよ。

エース アイさん。

アイ ファーストは初期化されてないからね。

エース 初期化されてない？

アイ そうだよ。

エース よかった。……他の皆は？

ファーストがサードを呼ぶ。

ファースト おいで。

サード、駆け寄る。

ファースト サード、あの人がエースだよ。

サード サード？ エース？

アイ そう。

ファースト 行っておいで。

サード エース、エース！

エース サード。

サード サードはたくさん頑張ったのです。人間のために、人間が幸せでいられるように。だってそれがハッピードールなのです！

エース そんなの！

ファースト ごめん！サードひとり連れて帰るので精一杯だった。

サード 嬉しくないのですか？

エース ……。

サード サードはエースに笑ってほしいのです。どうしてそんな顔をするのですか？
エース こんなの間違ってる。

サード　サードは間違っちゃったのですか？

エース　違う！違うんだ。間違ってるのは、いつも……。

ファースト　いいんだよ。俺たちは人間のために作られたんだから。

エース　だけども！

アイ　エース。私ね、今またエースと会えて幸せだよ。

エース　……。

ファースト　みんなを失っても、それでも俺はエースに会いたかった。

エース　……。

張り詰めた空気の中、サードはみんなの様子を見て

サード　悲しそうなのは嫌なのです。元気を出してほしいのです。

エース　サードにできること、なんでも言っほしてほしいのです。

サード　……僕は、みんなとここにいたい。

アイ　ずっとここにいます！

ファースト　エース。

エース　エース。

エース、みんなを見渡して

エース　おかえり。

閉幕

